

びるめん ニュース あいち

Vol.334

2017/2



一般社団法人
愛知ビルメンテナンス協会

Building Maintenance News AICHI

発行・編集

一般社団法人愛知ビルメンテナンス協会 広報委員会

E-mail aichibm@lilac.ocn.ne.jp/ URL http://www.aichi-bma.jp

〒460-0008 名古屋市中区栄2-1-10 伏見フジビル8階

TEL 052-265-7536 / FAX 052-265-7537

今月の視点

労働災害防止の取り組みのお願い

愛知労働局労働基準部 安全課長 三好 了

皆様には、日頃より愛知労働局の行政運営に格別のご理解とご協力をいただき、とりわけ労働災害防止にご尽力いただいておりますことに厚くお礼申し上げます。

さて、愛知県内の労働災害は、長期的には減少傾向にありますが、昨年全産業における休業4日以上の労働災害は、5,706件(12月末の現在の未確定値、以下同じ。)と一昨年同期に比べて34件(0.6%)増加しております。昨年の死亡災害は35件と、一昨年同期と比べ6件(14.6%)と減少しております。

皆様方のビルメンテナンス業におきましては、昨年、愛知県内では死亡災害は発生していませんが、休業4日以上の労働災害は141件と、一昨年同期に比べて23件(19.5%)増加しております。これらの災害について事故の型別に見てみますと、転倒が60件(42.6%)と一番多く、次いで、墜落・転落が33件(23.4%)で、この2つの型で66%と、全体の2/3を占めています。被災者の年齢を見ますと、60歳以上の方が84人と、全体の60%を占めています。

転倒災害は、全業種で見ましても事故の型別で20%以上を占めており最も発生件数が多いものです。ビルメンテナンス業では、高齢者の方が清掃作業中に床面で滑って転倒する災害が多く見られます。転倒災害防止は、設備管理面での対策、特に4S(整理・整頓・清潔・清掃)の実施、転倒防止に焦点を絞ったKY活動の推進などの取り組みをお願いします。

墜落・転落災害防止については、重篤な災害につながる高所作業における作業床、手すりの設置、安全帯の使用などの安全対策がもちろん重要ですが、墜落・転落災害のうち75%を占める階段などでの昇降時について、手すりを持って昇降する、両手に荷物を持って昇降しないなどにも留意する必要があります。

愛知労働局では、論理的な安全衛生管理の推進・定着を進めています。論理的な安全衛生管理は、いかなる場合も残留リスクがあり、常に危なさに関わっていることを認識し、人と危険源が近づくことにより生ずる「危険状態」から「危険事象」の出現「回避失敗」「危害」の発生の順に移行する災害発生プロセスに基づき、この危なさの度合い、リスクに応じた対策を考え、とりうる適切な対策を講じるものです。どのような安全対策を講じようとも、危なさに関わっている状態を回避することはできず、残留リスクが存在します。この残留リスクの管理を適切に行っていただき、労働災害の未然防止を図っていただくことが大切です。

一般社団法人愛知ビルメンテナンス協会会員の皆様におかれましては、更なる労働災害の防止に向けて、経営トップの決意のもとに、各事業場の状況に応じて創意工夫した安全衛生活動を展開して、労働者が安心して安全かつ健康に働くことができる職場を目指して取り組んでいただきますようお願いいたします。



■新年賀詞交歓会が盛大に開催されました

平成29年1月25日(水)午後6時から名古屋市中区の名古屋ガーデンパレスにおいて、新年賀詞交歓会が、会員企業から134名の参加者を得て盛大に開催されました。

当日は、来賓として堀井奈津子 愛知県副知事、(公社)全国建築物飲料水管理協会中部支部 横井 衛 支部長、(一社)愛知県警備業協会 金子慶太郎 副会長、(公社)愛知県ペストコントロール協会 白木谷唯春 理事、(一社)中部ガラス外装クリーニング協会 佐藤 隆 会長、愛知県ビルメンテナンス協同組合 深谷英一郎 理事長の6名の方々にお越しいただきました。

交歓会は、大口哲夫総務厚生副委員長の司会進行により、吉田副会長の開会のことば、加藤会長あいさつの後、堀井副知事からごあいさつをいただき、(公社)全国建築物飲料水管理協会中部支部 横井 衛 支部長のご発声による乾杯で宴が始まりました。

宴では懇親の輪が広がり、大いに興味が盛り上がったところで、柳家三亀司師匠によるおめでたい獅子舞や江戸独楽回しと女性講師の旭堂鱗林さんの話芸などが披露され、会場は更に盛り上がりを見せました。

最後に福岡総務厚生委員長の閉会のあいさつで、無事終了となりましたが、参加された皆さんは充分に堪能され、素晴らしい一夜になったのではないのでしょうか。会員の皆さんが一同に会し、交流できる貴重な場であり、今回ご都合がつかず欠席された会員の皆様、来年は是非ご参加いただければと思います。



▲加藤憲司会長あいさつ



▲堀井奈津子 愛知県副知事あいさつ

▲横井衛 全水協 支部長 乾杯



▲柳家三亀司師匠の獅子と旭堂鱗林さん



▲名古屋ガーデンパレスでの宴

■ビルメンテナンスロボット・マッチング会in愛知

経営・ビジョン委員会

ビルメンテナンス業界において人手不足が最重要課題となっているなか、昨年4月に東京国際フォーラムで開催された「第21回世界ビルメンテナンス大会ビジネスセッション」及び「ビルメンテナンスロボットスペシャルデモンストレーション」では業務用清掃ロボットに対して大きな反響がありました。

そこで今回、経済産業省のご協力をいただき平成29年1月12日(木)午後、名古屋ATビルにおいて、最先端の掃除ロボットを間近に見て体験していただきたく「ビルメンテナンスロボット・マッチング会in愛知」を開催しました。

主催者として一般社団法人愛知ビルメンテナンス協会 加藤憲司 協会長のあいさつに続き、経済産業省大臣官房統計グループの田中幸仁様から「ビルメンテナンスロボットの現状と課題～大切なのは『テクノロジー』より『テクニク』～」と題して

- ①労働力が不足する中、女性や高齢者が働きやすい環境整備が必要であり、その有効な手段としてロボットという選択肢が現実的となってきたこと。
- ②しかし、100点満点の完璧なロボットを期待してはいけないこと。
- ③メーカーとユーザーの協力で業務用ロボットの現場での利用ノウハウの蓄積が必要であること。
- ④さらにビルオーナー、保険会社など幅広い関係者との連携が必要なこと。

など、次世代ロボットが普及するためのポイントについて基調講演をしていただきました。

5社から最新の業務用清掃ロボットの性能紹介とデモンストレーションのあと、参加者と各メーカーが実際にロボットに触れながら具体的な相談や情報交換が熱心に行われ、参加いただいた57社148名の方々にとってもロボットへの理解を深めていただけた企画でありました。

プログラム	13:00 開会挨拶 一般社団法人 愛知ビルメンテナンス協会 会長 加藤憲司
	13:05 基調講演 第21回世界ビルメンテナンス大会「ロボットセッション」 コーディネーター 田中幸仁 氏(経済産業省)
	13:30 最新ビルメンテナンスロボットの紹介 各社からの最新ロボットの紹介・実演
	15:30 個別相談会
デモンストレーションロボット	アマノ株式会社 業務用ロボット掃除機「RcDC」 業務用ロボット床面洗浄機「SE-500iXII」
	NGP-FOTEC株式会社 窓掃除ロボット「Windowmate」
	フィグラ株式会社 業務用清掃ロボット「エフロクリーン」
	中西金属工業株式会社 自動床洗浄ロボット「ロボクリーパー」
	シーバイエス株式会社 自動床洗浄ロボット「エアロボット1850」 自動床洗浄ロボット「スウィンゴット1650」



▲加藤憲司協会長あいさつ



▲田中幸仁氏基調講演



▲メーカーとの情報交換

第31回愛知県建築物環境衛生管理研究集会

平成29年2月2日(木)、名古屋市教育センター講堂において、昭和59年から業界6団体と5つの行政機関が一体となって実施している、第31回愛知県建築物環境衛生管理研究集会が参加者936名(当協会からは168名)を得て開催されました。

研究集会では、実行委員長である愛知県管工事業協同組合連合会の穂苅泰男会長及び名古屋市健康福祉局健康部環境薬務課の木下和俊課長からのあいさつに続き、研究発表では17名の方々から日常での研究成果について要領よくわかりやすい発表が行われました。

当協会からは、昭和建物管理(株)の服部弘司氏が座長を務め、発表者として赤門ウイレックス(株)の成相英明氏が「空調設備によるカビの汚染と対策について」及び昭和建物管理(株)の逸見勇樹氏が「省エネ対策による効果と環境について」の発表がありました。

また、特別講演では「中部経済の現状と展望 ～リニアの経済効果とリニア時代のまちづくり～」と題して中京大学経済学部の客員教授 内田俊宏氏から東海地区の中長期的な経済の展望について講演いただきました。

最後に、次回の第32回研究集会で実行委員長を務める当一般社団法人愛知ビルメンテナンス協会の加藤憲司協会長から、研究集会のさらなる充実と発展を祈念するとの言葉で全てのプログラムが円滑に終了しました。



▲開会 愛知県管工事協同組合連合会 穂苅泰男会長



▲座長 服部弘司氏 昭和建物管理(株)



▲研究発表 成相英明氏 赤門ウイレックス(株)



▲研究発表 逸見勇樹氏 昭和建物管理(株)



▲開会 (一社)愛知ビルメンテナンス協会 加藤憲司 会長



▲特別講演 内田俊宏氏 中京大学経済学部 客員教授

安全優良職長厚生労働大臣顕彰を 当協会員から2名受賞

平成29年1月10日(火)厚生労働省講堂で、(株)セイビ名古屋支店の山本美代子氏とグローブシップ(株)名古屋支店の吉田信夫氏が厚生労働大臣顕彰を受賞されました。この顕彰は優良な安全成績をあげた現場を直接指揮する技能と経験を有した方を顕彰するもので、昨年度からビルメンテナンスの分野も対象となりました。受賞された山本美代子様、吉田信夫様、誠にありがとうございます。

(株)セイビ名古屋支店の山本美代子様の言葉

荣誉ある顕彰を授かり大変感謝しております。
ビルを快適に利用して頂く為にひたすら努めてまいりましたが、この安全優良職長顕彰は職場の仲間、会社の方々、ビルメンテナンスに係る皆様を代表して頂いたものと心得て、今後ともビルを安全で清潔に守って行きたいと心を新たに致しました。本当にありがとうございました。

グローブシップ(株)名古屋支店の吉田信夫様の言葉

ビルメンテナンス部門が厚生労働大臣顕彰の対象となってまだ日の浅いビルメン業界からの受賞という事で大変光栄に思います。
決して私一人の顕彰ではなく、同じ現場の作業員の皆さんや担当者の方の努力の積み重ねのおかげです。
厚生労働省の講堂で表彰状を頂いた時の緊張感や感激を忘れず、日々の業務に臨む所存です。



▲厚生労働大臣顕彰 授賞式典



▲吉田信夫様 山本美代子様

会員の動き 2月1日現在会員数
 普通会員 122社 賛助会員 22社

普通会員			
年月	会員名	異動(変更)事項	異動内容
29.1	サラヤ(株) 中部支店	会社名 代表者職名 登録者	新 サラヤ(株)中部支店 中部支店長 青木康司 係長 東 大史 旧 サラヤ(株)名古屋営業所 名古屋営業所長 青木康司 次長 荒川 学
29.1	(株)三清社	代表者	新 代表取締役社長 淵脇久範 旧 代表取締役社長 大岡洋三
28.11	ケルヒヤージパン(株) 名古屋支店	登録者	新 名古屋支店長 栗原 岳 旧 名古屋支店長 藤村 生寿

報告事項 (委員会報告/全協報告/地区本部報告/事務局報告)

◆第10回 広報委員会

開催日時 平成29年1月18日(水) 午前10時~11時

開催場所 協会事務局会議室

出席者 酒井委員長始め6名の出席を得て以下について協議

- ・びるめんニュース平成29年2月号の構成
- ・平成29年度の事業計画について

◆第2回 品質向上特別委員会

開催日時 平成29年1月13日(金) 午前10時~午後3時

開催場所 協会事務局会議室

出席者 水藤委員長始め委員6名及びワーキンググループ
 構成員5名の出席を得て以下について検討

- ・ワーキンググループの役割
- ・事例ヒアリング
- ・今後の活動スケジュール

平成28年度 労働安全衛生優秀作品

標語 「小さな油断が命取り
 手順を守って 指差呼称」

グローブシップ(株)名古屋支店 盛岡 清さんの作品

理事会・各種委員会

◆第9回 理事会

開催日時 平成29年1月25日(水) 午後4時30分~5時30分

開催場所 名古屋ガーデンパレス 5階「松」の間

出席者 加藤会長始め13名の出席を得て、加藤会長が議長となり審議を行った。

- 主な審議事項
- ・新年賀詞交歓会について
 - ・品質向上特別委員会の活動状況について
 - ・災害発生時における支援に関する愛知県との協定について

平成29年3月の予定

弥生

- 1日(水) ・空気環境測定実施者講習会[2/27~3/3] (大成今池研修センター)
- 15日(水) ・理事会 広報委員会

賛助会コーナー



＝ 新 登 場 ＝

これも作業着です!

中部ユニフォーム株式会社

<http://www.c-uniform.com>

代表者/江村 一
 住 所/〒456-0053 名古屋市熱田区一番二丁目51-11
 TEL 052-652-4811 FAX 052-652-4812
 担当者/八木 伸二 mail info@c-uniform.com

事務局だより

ひと昔前、一日の仕事を終えて炬燵に足を
 つっこんで、二級酒の熱燗で一杯なんてことが
 至福のひとつでした。

今、居酒屋を覗くと、よく暖房されたお店の中
 で「初しぼり、寒造り新酒あります」の貼紙に誘
 われて「冷酒ください」、「やっぱり大吟醸にかぎ
 るな」でなこなっています。

日本酒には以前「特級、一級、二級」という
 酒税のための格付けがありました。良心的な
 酒造メーカーでは品質の良い二級酒が沢山あ
 りました。

「特選、上撰、佳選」という名称も登場しまし
 ましたが、各酒造メーカーの独自の表示で基準は特
 に無いようです。

そこで、日本酒を選ぶなら今では「本醸造、純
 米、吟醸」に「特別」や「大」の文字を組合わせ
 て精米歩合はどうか、原材料や醸造アルコール
 をブレンドしているの分かるようになってきます。

品質については、統一された評価基準で顧
 客に解りやすく示すことで選択してもらおう工夫は
 どんな分野にも共通するようです。